



黒須田だより

横浜市立黒須田小学校 学校だより

令和5年8月28日



学年の様子など、ホームページもごらんください。 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kurosuda/>



ニチニチソウに教わったこと

校長 平岡 仁樹

連日30度を超える猛暑日が続いた夏休みが終わり、子どもたちの笑顔と元気な声が学校に戻ってきました。

この夏休みには、大場町の納涼盆踊大会とすすき野ふるさと祭り、どちらも4年ぶりに行われました。どちらの会場でも、子どもたちの素敵な笑顔がたくさん溢れていました。地域の皆さんとお話している間も、黒須田の子どもたちが次々に「校長先生、こんにちは!」「校長先生も来たんだね!」と声をかけてくれました。「校長先生、お久しぶりです!お元気ですか?」と声をかけてくれた卒業生たちもいました。夏休み存分に楽しみながらも、しっかりと挨拶をしてくれる黒須田小の子どもたちに会えてうれしい気持ちでいっぱいになりました。地域の一員として行事に参加できる子どもたちは本当に幸せだと思います。このような素敵な催しを企画運営して下さった地域の皆様のお気持ちとご苦労に感謝の気持ちでいっぱいです。

地域の夏祭りだけでなく、様々なイベントが4年ぶりに開催された今年の夏。帰省や旅行に出かける人が増えたというニュースがたくさん聞かれました。子どもたちも様々な場所で様々なことに挑戦できた夏休みになったことでしょう

私もこの夏、小さな挑戦をしてみました。それは「植物を育てる」ことです。きっかけは、我が家の小さな庭の草刈りからでした。普段、誰も手入れをしないので草も木も伸び放題。重い腰を上げて、まずは草刈りを始めました。すると、雑草に紛れて、確かゴールデンウィークに植えたであろうミニトマトやバジル、そしてニチニチソウが肩身狭そうにひっそりと生えていました。その健気な様を見て「これではいかん」と反省し、環境を整え、毎日水遣りをすることにしました。プランターに植え替えたニチニチソウは、日当たりのよい場所に移し、毎朝水を遣り、花がらを摘んであげるとあっという間にたくさんの花を咲かせるようになりました。私の人生でこんなにも植物と向き合い、毎日関わるという経験は初めてでしたが、のびのびと生長する姿には、小さな喜びをたくさんもらうことができました。そして、この喜びは、学校教育活動に携わっている者として感じてきた喜びとよく似ていると思いました。日々の小さな積み重ねの大切さとその喜びをニチニチソウに教わりました。



9月は前期の学習のまとめの時期となります。職員一同、子どもたちがのびのびと健やかに成長できるように、環境を整え、よく見守り、一日一日を大切に教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。